

弁護士生活6カ月

会員 馬場 洋尚



1 はじめに

弁護士登録をしてから6カ月が経過した。

駆け出しの私は、まだそれほど手掛けている案件が多くはなく、弁護士の中では比較的時間のある方である。そのため、時間があれば、会派の活動や部会の活動などに参加するようにしている。

2 自治体等法務研究部の活動

自治体等法務研究部では、月に1回、行政事件に関する裁判例の発表を行っている。私も、さっそく1件裁判例の発表を担当させて頂いたが、情報量を多くし過ぎてしまい、つらつらと事案を読み上げるような発表になってしまった。この反省を踏まえ、他の部員の裁判例発表を聞くときにも、「自分だったらどう発表するか」ということを意識して聞くようにしている。弁護士をしていると、何かとプレゼンをする機会も多いと思うが、早い段階からこのような経験を積むことは有益なことであると思う。

また、同研究部では、自治体メール相談という制度も設けている。これは、区役所などの地方自治体からメールでの相談を受け、これに対し主査を担当する弁護士と副査を担当する弁護士が協議して回答するというものである。

地方自治体からのメール相談は、地方自治法や条例を基本に他の様々な法令に関連する相談が多く、非常に勉強になっている。若手のうちでは中々経験できないような相談案件に携わることができるのは、非常に有り難いことである。

3 東日本大震災復興支援特別委員会の活動

同委員会では、年に数回、被災地訪問を行っている。被災地訪問は、1泊2日のプランで行うことが多い。主

な活動内容としては、被災地の市役所との意見交換会、仮設住宅訪問、民営・公営の被災者支援団体との意見交換会などである。

私は、本年度第三回目の被災地訪問及び第四回目の被災地訪問に参加した。被災地訪問をして勉強になるのは、各自治体や復興支援団体の復興政策の概要を学べる点である。また、各地によって復興政策の在り方が異なるところも非常に面白さを感じる。

例えば、宮城県東松島市では、災害時に一般電力会社からの供給が停止した際にも、3日間～1週間電力供給が可能な住宅地区である「スマート防災エコタウン」という施設設置の計画を立てている。同市では、防災に力を注がれている印象を受けた。一方で、岩手県大船渡市では、民間企業の主導により、かつては商店街及び居住区であった大船渡駅周辺地区につき、商業施設とする計画を立てている。同計画では、当該地区につき、ものづくり施設、ショッピングセンター、スポーツ・イベントの創出空間など様々な施設を設けることが企画されている。同市では、都市の再生に力が注がれていると感じた。

被災地の人々は、東日本大震災で甚大な被害を被り、現在も決してその傷は癒えていないように思う。その一方で、被災地の人々が、心身ともに辛いなかでも、夢と希望を込めて復興政策やまちづくりに尽力されていることを知り、感銘を受けると共に、私自身が非常に励まされた。

4 結び

会派や部会の活動は、一桁台の期から同期まで様々な弁護士と知り合いになることができ、また、本業のみでは体験できないことが多く、非常に刺激になっているので、お勧めである。